

2019 年 7 月 9 日

各位

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社

高砂熱学工業株式会社のグリーンボンドの引受けについて

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 荒木 三郎、以下当社）は、このたび、高砂熱学工業株式会社が発行するグリーンボンド⁽¹⁾（7 年債 50 億円）の引受けにおいて事務主幹事及び Green Bond Structuring Agent⁽²⁾を務め、本日、同グリーンボンドの条件が決定されましたことをお知らせします。

高砂熱学工業株式会社は、「環境エンジニアリングにより、脱炭素社会に向けて世界に貢献」することをグループの目指す未来と定め、その実現に向けて事業活動を推進しています。本グリーンボンドの発行により調達された資金は、茨城県つくばみらい市に建設中の「(仮称) イノベーションセンター」の建設資金及び設備資金に充当することを予定しており、グループ一丸となって、ネット・ゼロ・エネルギーを志向する環境改善技術の進化・創造と更なるオープンイノベーションの活性化を通じて、持続可能な社会の実現に向けた積極的な貢献を果たしていくことを目的としています。

本グリーンボンドの適格性については、第三者評価として、株式会社日本格付研究所 (JCR) より「JCR グリーンボンド評価」の最上位評価である「Green1」の評価を取得しています。

当社は、金融機関として果たすべき社会的使命を自覚し、持続可能な社会の実現に貢献するための取組みを積極的に推進しており、環境分野においてもグリーンボンドの引受けをはじめ、炭素クレジットやクリーンエネルギービジネスにおけるコンサルティングサービスの提供、社内の省エネ・省資源施策等を実施しています。

2006 年に国連責任投資原則 (PRI: Principles for Responsible Investment) が制定されて以来、世界の ESG 投資が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド等の発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESG をテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本件グリーンボンドの概要)

債 券 名 : 高砂熱学工業株式会社第3回無担保社債(社債間限定同順位特約付)
(高砂熱学グリーンボンド)

取 得 格 付 : A- (JCR)

年 限 : 7年(2026年7月16日償還)

発 行 総 額 : 50億円

利 率 : 0.270% /年

発 行 日 : 2019年7月16日

主 幹 事 : 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
SMBC日興証券株式会社

Green Bond : 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
Structuring Agent

- (1) 環境事業に要する資金を調達するために発行する債券。本グリーンボンドは、国際資本市場協会
(International Capital Market Association : ICMA) が定義する「グリーンボンド」の特性に従った債券
である旨、株式会社日本格付研究所(JCR)から第三者評価を取得している
- (2) グリーンボンドのフレームワークの策定およびセカンドパーティ・オピニオン取得の助言等を通じて、
グリーンボンドの発行支援を行う者

以上